



1_昨年5月、市内にオープンした「遠野醸造TAPROOM」。自家製クラフトビールなどを楽しむことができる 2_ホップ農園での作業体験など、ビールという切り口で遠野を知ってもらうイベント等も企画している 3・4_市内焙煎所と連携したコーヒー豆を使ったコーヒービールを作ったことも

5_遠野のホップやビールを体感できる場所を作りたいと思います。

6_今後の目標や取り組みたいことを教えてください。

前職は、大手衣料品メーカーの店長をしていました。しかし、働いているうちに商品の作り手と買い手の顔が見えないことに違和感を覚えるようになり、少量でもいいから自分の手で作ったものを自分で届ける仕事がしたいと思うようになりました。そのとき、

遠野に来る前はどうなことをしていましたか?

遠野で起業に挑戦中! Vol.10

遠野に移住し起業を目指す皆さんを紹介

ビールプロジェクト 複田 大輔さん

平成28年から市と(株)ネクストコモンズが手がける「ローカルベンチャー事業」。遠野に移り住んだ10数人の地域資源を生かした起業・事業化や自立に向けた活動の様子、イベント情報などをお伝えします。

学生時代にバックパッカーで世界を周つてその土地のビールを飲むのが好きだったことを思い出し、ビールの業界に転職をしました。はじめは横浜のブルワリーで働いていましたが、2016年にこのプロジェクトを知って、遠野で一から自分でブルワリーを立ち上げられるかもしれないと思い応募しました。

着任した2016年9月からその年の終わりまでは、同じプロジェクトの太田隊員と東京のブルワリーで研修。その後数ヶ月かけて全国のブルワリーを周りました。一昨年の春に遠野に来てからは、事業計画を練ったり、クラフトビールに親しんでもらうイベント企画しながら店舗オープンに向けて動いてきました。

昨年5月に「遠野醸造TAP ROOM」をオープン。太田隊員はビール醸造を、私は人事、総務、会計、営業、広報などの業務を担当しています。

「カウンター越しに、自分の手で作ったものを届けたい」とおっしゃっていましたか?

遠野に来てからどんな活動をしてきましたか?

遠野文化研究センターだより とおのじん 一其の8-

遠野人

あけましておめでとうございます。今年も遠野文化研究センターをよろしくお願ひ致します。今月は本センターの応援団「遠野文化友の会」のホームページを紹介します。

遠野文化研究センターには協力な助っ人がいます。センターの活動を応援しようと、市内外の方々で組織した「遠野文化友の会」という団体です。発足から7年、平成30年12月現在の会員数は107人になりました。その友の会は平成30年11月、ホームページを作成し、公開。作ってくれたのは次の4人です。

★遠野文化友の会ホームページはこちら★

<https://tonobunka.com/>

いずれも遠野への移住者で、富川岳さん(31歳、新潟県出身)、及川敏恵さん(37歳、奥州市出身)、阿部満穂子さん(25歳、宮城県出身)と、遠野へUターンした菊池紀之さん(27歳、東上組町)の4人。彼らは友の会長の荒田昌典さん(66歳、遠野町)と会う機会があり、近年活動が低迷している会の活動を盛り上げたいと話し合いました。

4人は、活性化にはまず遠野のことを知ること、それも楽しくないといけない、そう考えました。そこで自らが遠野を知る

うと『遠野物語』を読み込んだり、遠野のさまざまなイ

ベントや伝統行事などに参加したりしていく中で、「遠

野人」がまだ気付かない遠野の魅力をたくさん発見し

ました。富川さんはそれらを発信するために、ホーム

ページを作成したい、と思うようになりました。

次に、会員は遠野にどんな思いを持っているのか、何を求めているのかが気になり、アンケートや調査、

会議を繰り返しました。遠野に生きる人、関心がある人

たちがそれぞれの視点で自由に遠野の魅力を発信で

きればいい、自分たちが感じた多様な遠野の楽しみ方

を紹介したい、遠野の人に遠野のことをもっと知って

もらいたい。さまざまな意見を出し合い、結局それ

らを発信するかたちで公開。企画から7ヵ月が経過し

ていきました。既に市民から寄せられているコラム、作

成済みの遠野の年中行事や郷土芸能の動画は随時公開

する予定です。

現在公開中のコラムには、及川さんが遠野

で出会ったわらべ唄に

ついての所感、阿部さ

んが参加した遠野小

学校の全校表現活動「遠

野の里の物語」での体

験記、遠野八幡宮の多田宜史さん(38歳、松崎町)が同

八幡宮に伝えられている遠野南部流鏑馬についてを、

それぞれ紹介しています。

ネット環境さえあれば世界のどこでも見ることができますが、一番に見たいのは遠野の人たち。

4人は「何もしなければ埋もれてしまう遠野の記憶の

掘り起こしにつながれば」と、ホームページに願いを

込めていました。

私たち遠野文化研究センターを支えてくれる遠野文

化友の会。そのホームページを、ぜひ、見ていただき

たい。そして「遠野人」の皆様には、古い遠野の記憶を

呼び覚ましてほしいと願っています。

▶★イベントのお知らせ

遠野文化まちづくりネットワーク交流会

新春『遠野物語』☆超会議
一発刊110年ヘキックオフ!

2020年に発刊110年を迎える『遠野物語』について、にぎやかに楽しく語り合う立食形式の交流会を開催します。

- 日時 1月18日(金)18時~20時半
- 場所 あえりあ遠野中ホール
- 会費 2,000円(懇親会費)
- 申込 16日(水)までに電話・ファックス・メールにて受付

★問い合わせ:遠野市東館町3-9(遠野市立博物館内)/TEL:60-2800/FAX:62-5758/MAIL:tono100@city.tono.iwate.jp



(左から)富川さん、及川さん、阿部さん
よしみ(38歳、松崎町)が同八幡宮に伝えられている遠野南部流鏑馬についてを、それぞれ紹介しています。

ネット環境さえあれば世界のどこでも見ることができますが、一番に見たいのは遠野の人たち。4人は「何もしなければ埋もれてしまう遠野の記憶の掘り起こしにつながれば」と、ホームページに願いを込めていました。

私たち遠野文化研究センターを支えてくれる遠野文化友の会。そのホームページを、ぜひ、見ていただきたい。そして「遠野人」の皆様には、古い遠野の記憶を呼び覚ましてほしいと願っています。

▶★イベントのお知らせ

遠野文化まちづくりネットワーク交流会

新春『遠野物語』☆超会議
一発刊110年ヘキックオフ!

2020年に発刊110年を迎える『遠野物語』について、にぎやかに楽しく語り合う立食形式の交流会を開催します。

- 日時 1月18日(金)18時~20時半
- 場所 あえりあ遠野中ホール
- 会費 2,000円(懇親会費)
- 申込 16日(水)までに電話・ファックス・メールにて受付